

7.11 放射能対策講演会 第二弾

チェルノブイリは知っている、日本の未来。

第1部 「ドキュメント・放射能汚染」

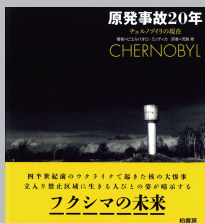
チェルノブイリ事故から20年たった現地で生きる人々のポートレート写真をスライド上映しながら放射能汚染地帯の現実を切り取っていくステージ。(イタリア人写真家・ピエルパオロ氏撮影)

ミュージシャン兼活弁士として道化師・明川哲也(ドリアン助川)氏がこのテーマで歌い、詩の朗読で語ります。

出演：明川哲也(ドリアン助川)氏 ギタリスト：田村輝晃氏 協力：柏書房/アウルズ・エージェンシー

明川 哲也(ドリアン助川)氏 ◆作家、道化師

1962年、東京生まれ。早稲田大学第一文学部東洋哲学科卒業。放送作家などを経て、'94年、バンド「叫ぶ詩人の会」でデビュー。パーソナリティを務めた深夜ラジオ番組『ジャンベルジャン!』においてリスナーたちの重い悩みと正面から向き合い、若者たちから支持を得る。'99年、同バンド解散後に渡米。2002年に帰国後は、明川 哲也の筆名で詩や小説を書くほか、朝日新聞で「悩みのレッスン」を連載中。著書に『メキシコ人はなぜハゲないし、死なないのか』(晶文社/文春文庫)、『花鯛』(文藝春秋)、『夕焼けポスト』(宝島社)、『バカボンのパパと読む「老子」』(角川SSC新書)他多数。公式サイト「道化師の唄」<http://www.tetsuya-akikawa.com/>



『原発事故20年 チェルノブイリの現在』ピエルパオロ・ミッティカ=著/写真 児島修=訳 (柏書房刊/定価3,150円)
チェルノブイリの立入禁止区域内のありのままの光景をカメラにおさめた静謐なるドキュメント。爆心地周辺のゴーストタウン、その近辺にいまも暮らす人々の日常、悪性腫瘍、白血病、奇形の身体……。放射能汚染拡散の過程を克明に解説したテキストとともに、日本版のために著者が新たに撮り下ろした福島の写真も収録し、核の恐怖にさらされた現在と未来の姿を同時に告発する。

ピエルパオロ・ミッティカ氏 ◆写真家

1971年8月6日生。ヒューマンズの視点に基づいた作品で知られるイタリア人カメラマン。イタリア、スベリンベルゴ在住で、普段は歯科医として働いている。国際的な評価も高く、多くの受賞歴がある。

第2部 「3.11 から1年4カ月を経過した今。パネルディスカッション 私たちは放射能汚染から、どう身を守るべきか？」

2011.10.25 講演会・第一弾で反響の大きかったパネルディスカッションを拡充。今対策すべき情報をお届けします。まず3名のパネリストに、国へあるいは横浜市へ、今こそ届けたいメッセージを伝えてもらいます。そのうえで参加者から事前質問の多いテーマをいくつかお尋ねし、回答とその根拠となる情報もご提示頂きます。ディスカッションをパワーアップするサプライズ!ゲストが登場するかも。



武田邦彦氏 × (中部大学教授)

伊藤隼也氏 × (医療ジャーナリスト/写真家)

肥田舜太郎氏 (被曝医師)

コーディネーター・司会進行 あべみちこ(マザール代表)



◆日時：2012年7月11日(水)
12:30 開場 13:30 開演

◆場所：横浜関内ホール・大ホール
横浜市中区住吉町4-42-1 TEL: 045-662-1221

◆参加費：1800円(事前お振り込み) / 2000円(当日) 全席自由

*お申し込み方法は裏面をご覧ください。

主催：有限会社マザール 協力：横浜関内ホール

<プログラム>

【第1部】13:30 スライド上映を背景に
音楽演奏と詩の朗読
14:10 (15分休憩)

【第2部】14:25 各登壇者によるスピーチ
14:55 パネルディスカッション

【参加者】武田邦彦氏 × 伊藤隼也氏 × 肥田舜太郎氏

【コーディネーター・司会進行】あべみちこ(マザール代表)

15:25 質疑応答

16:00 終了

「3.11 から1年4カ月を経過した今。 私たちは放射能汚染から、どう身を守るべきか？」

＜パネルディスカッション登壇者＞

武田 邦彦 (たけだ くにひこ)氏

◆中部大学教授 (所属:総合工学研究所)

1943年東京都生まれ。工学博士。東京大学教養学部基礎科学科卒業。専攻は資源材料工学。卒業後、旭化成に入社。同社ウラン濃縮研究所長在任中、世界で初めての化学法のウラン濃縮に成功し、日本原子力学会から最高の賞(平和利用特賞)を受賞。放射線関係では第一種放射線取扱主任者など広い分野の原子力実績を持つ。名古屋大学大学院教授を経て、現在、中部大学総合工学研究所教授。内閣府原子力委員会および安全委員会専門委員を歴任。

著書に「環境問題はなぜウソがまかり通るのか1, 2, 3」(洋泉社)、「偽善エネルギー」(幻冬舎)、「原発事故 残留汚染の危険性 われわれの健康は守られるのか」(朝日新聞出版)、「放射能と生きる」(幻冬舎新書)など多数。

伊藤 隼也 (いとう しゅんや)氏

◆医療ジャーナリスト / 写真家

国内外を問わずさまざまな医療現場を精力的に取材。'03年からフジテレビ「とくダネ!」にてメディアカルアドバイザーを務める他、TV・雑誌・書籍など多数のメディアでより良い医療のあり方を追求・発信し続けている。'08年には、東京都の周産期救急搬送システムの不備を徹底検証した記事(週刊文春)が、第15回「編集者が選ぶ雑誌ジャーナリズム賞」大賞を受賞。震災直後より、何度も被災地入りし取材を重ねる。その情報と知識をフル活用し監修した「世界一わかりやすい放射能の本当の話 子どもを守る編」(宝島社)は、各方面より大反響を得る。近著に健康をサポートする実用書「オトコの病気 新常識」「オンナの病気 新常識」(講談社)等がある。

肥田 舜太郎 (ひだしゅんたろう)氏

◆被曝医師

1917年広島市生まれ。1943年、日本大学専門部医学科卒業。1945年8月6日、原爆被曝。直後から被曝者救済・治療にあたり、2009年の引退まで被曝者の診察を続ける。1953年、全日本民主医療機関連合会(全日本民主医連)創立に参加。全日本民主医連理事、埼玉民医連会長、埼玉協同病院院長、日本被団協原爆被曝者中央相談所理事長などを歴任。1975年以降、欧米を中心に計30数カ国を海外遊説、被曝医師として被曝の実相を語りつつ、核兵器廃絶を訴える。アメリカの低線量放射線被曝に関する研究書等を翻訳、普及にも努め、内部被曝の脅威を訴え続ける。著書に「ヒロシマを生き延びて」(あけび書房)、「内部被曝」(扶桑新書)、共著書に「内部被曝の脅威」(ちくま新書)がある。

＜コーディネーター＞

あべみちこ ◆マザール代表 / コピーライター&クリエイティブディレクター

母対象の情報、モノ、場をうみだす企画会社マザールを2004年起業。従来の広告スタイルにこだわらず、主婦向けブランドやコミュニティを開発し、元気で笑顔になるプロジェクトを多数手がける。子育て、教育、環境など社会的問題に着目したテーマを設定し、雑誌やウェブで執筆、インタビューとして活動。母向けのワークショップ、講演会、コンサート企画などを通じて、横のつながりをもてる交流の場を考案。2011年10月25日に放射能対策講演会・第一弾を横浜市鶴見区サルビアホールにて企画・主催し500名以上を動員。著書に食と絵本を楽しむ「ものがたりレシピ」(幻冬舎)、「たべものかるた」(ほるぷ出版)、「赤ちゃん絵本ノート」(マーブルトン)など。絵本評論や物語創作、親子対象の絵本お話し会などボランティア活動も行う。

お申し込み方法 webのお申し込みフォーム・メール・FAXで、事前申し込み制とさせていただきます。

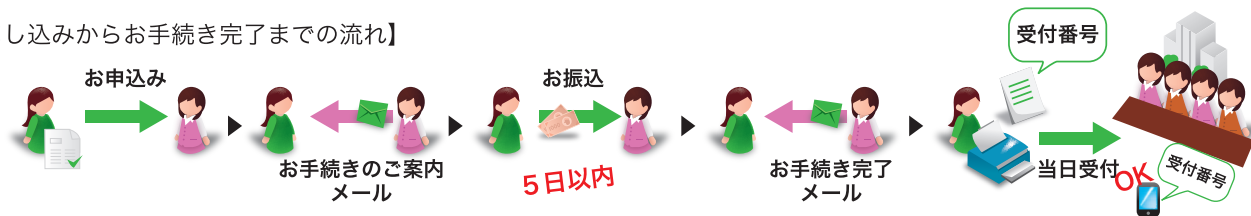
オンラインフォーム▶▶ <http://www.motheru.jp/> マザールHPより講演会ご案内ページにフォームへのリンクがございます。

メール・FAX▶▶ E-mail <obo@motheru.jp> FAX.045-350-6392



【必要記入事項】 ①お名前 ②フリガナ ③お申込み人数 ④居住区域 (例:横浜市内は区まで明記、横浜市外の場合は市名でOK)
⑤連絡先お電話番号 ⑥その他特記事項(車椅子利用等) ⑦パネリストへのご質問がございましたら、ご記入下さい。
(①～⑤は必ずご記入ください。ご不明な点は事務局宛てお電話でお問い合わせください。)

【お申し込みからお手続き完了までの流れ】



お申し込みされた方へ、マザール講演会事務局よりお振り込み口座を記載した「ご案内メール」をお送りします。

↓
指定口座へ5日以内にお振り込みください。お振り込み完了された方へ「お手続き完了メール」をお送りし受付番号を発行します。期間内にお手続きがされなかった場合は、自動的にキャンセルとなります。ご参加希望の場合は再度、お手続きください。

↓
「手続き完了メール」を当日携帯画面か、プリントアウトをご持参いただき、受付番号別に受付で確認し会場へお申し送り致しますので大切に保管をお願い致します。それがございませんと入場をお断りすることもございます。

※領収書が必要な方は別途、事務局宛てにご連絡をください。

【保育サービスのご利用について】

満2歳～6歳(就学前)のお子様のみホール内設置の託児保育室にてお預かりします。

定員:30名 有料:2500円(13～16時の3時間お預かり・事前振り込み制)

保育ご希望の方は、narao@motheru.jp まで以下の必要項目を記載の上、送信ください。

①親氏のお名前(ふりがな) ②お子様の年齢・月齢まで ③携帯電話番号 ④特記事項(アレルギーなど)
折り返し、マザール講演会事務局から返信差し上げます。

ご協力とご理解をお願いします!

- ・講演会へお申し込み手続き完了された方のみ受付です。保育のみのご利用はできませんのでご了承ください。
- ・保育スタッフはオフィスポケット株式会社に委託します。
- ・2歳以下の乳児さんは、親御さんのお膝でお座りになる場合は参加費は発生しません。周囲の方々へのご配慮をして頂きながらご自身で責任をもってお世話してください。
- ・講演中にお子様がお声をはり上げるなど、周囲へご迷惑と思われる行為があった場合は、スタッフによりいったん退出をお願いすることもございます。
- ・大人同様お席にお座りになって鑑賞される場合は、幼児さん、小学生以上のお子様は有料となりますのでご了承ください。
- ・保育費用は参加費と同様に事前お振り込み頂きますが7月4日(水)午後5時までにやむを得ない理由でキャンセルのご連絡を頂いた場合は、保育費用は全額返還します。
- ・7月8日(日)午後5時までにキャンセルの場合は半額返還し、それ以降にキャンセルの場合は全額返還できかねますのでご了承ください。

※講演会お申込みにて知り得た個人情報は、適正かつ厳重に取扱います。

【お問い合わせ】 TEL: 045-350-6391 (平日10時～17時) / E-mail: obo@motheru.jp

主催: 有限会社マザール / 協力: 横浜関内ホール / ファイアー! プロジェクト

マザール